

カンパニーデラシネラ 小野寺修二 演劇 ワークショップ



ダンスと演劇のフィールドを駆け回る、
カンパニーデラシネラの小野寺修二。

その身体技法、演劇法を
体験してみませんか。

2023年2月・3月にじっくり作品創作をする
ワークショップも開催予定です。

まずはお試しから。初心者大歓迎です。

- ①土曜コース 2022/11/26(土) 14:00 ~ 17:00
②日曜コース 11/27(日) 13:00 ~ 16:00

①②
2コースあるよ!

会場 りゅとぴあ ギャラリー
講師 小野寺修二
定員 各日 先着 15名(高校生以上)
参加費 2,000円 高校生 1,000円
受付開始 2022/10/7(金)

お申込み ○サイト お申込みはこちら▶
○メール



氏名、電話番号、年齢、
希望コース(①または②)を明記し
engeki@ryutopia.or.jp
件名:「小野寺修二 演劇ワークショップ」係
まで、お申込みください。

※お申込みいただいた全ての方へ、1週間
以内に返信いたします。お申込み後、期日
までに返信が届かない場合は、下記お問合せ
先までご連絡ください。

お問合せ りゅとぴあ事業企画部
TEL.025-224-7000
(平日 10:00 ~ 18:00 / 休館日除く)

主催 公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団

※この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

カンパニーデラシネラ
小野寺修二
演劇
ワークショップ

大人も、こどもも。
目にみえる？
みえない？
不思議な舞台。



小野寺修二 略歴

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。
日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年~06年、
パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化
庁新進芸術家海外研修制度研修員として1年間フランス
に滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。作品
はマイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、
世代を超えた観客層の注目を集めている。

カンパニーデラシネラ こども古典名作劇

『はだかの王様』

原作: ハンス・クリスチャン・アンデルセン

演出: 小野寺修二

出演: 崎山莉奈、山村佑理、大庭裕介、
藤田桃子、小野寺修二 他

2023

1/14(土) 15:00 開演

15(日) 11:00 開演 / 15:00 開演

開演は各公演の30分前

りゅとぴあ
新潟市民芸術文化会館
劇場(特設ステージ)

- チケット料金 全席自由(整理番号付)
大人 3,000円 U25 2,000円
小学生以下(4歳~小学生) 1,000円

※U25:公演時25歳以下の方を対象(中学生以上)。ご入場時に年齢
がわかるものをご提示ください。

この公演は国および新潟県、新潟市のガイドラインに基づき
客席制限は行わずに開催いたします。

●発売日

会員先行 2022/11/17(木)
一般 11/22(火)

※会員および一般発売初日はインターネットと電話予約に限定させてい
きます。残席があった場合、翌営業日11:00より窓口にて取扱いします。

●チケット取扱い りゅとぴあ

○オンライン・チケット
<https://piagetii.s2e-get.jp/ryutopia/pt/>
[発売初日11:00~]

○電話 025-224-5521

(11:00~19:00/休館日除く)

[発売初日11:00~]

○窓口(りゅとぴあ2階)

[発売初日(会員先行・一般発売ともに)取扱いなし]

※残席がある場合には翌営業日11:00より取扱い開始。

●お申込み・お問合せ

りゅとぴあチケット専用ダイヤル

TEL.025-224-5521(11:00~19:00/休館日除く)

●主催

公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団

新型コロナウイルス感染症予防対策について

新潟市民芸術文化会館では、公益社団法人全国公立
文化施設協会および新潟市文化政策課のガイドラインを
踏まえて、「新型コロナウイルス感染症予防対策」を定めてお
ます。詳しくはりゅとぴあホームページにてご確認ください。▶▶▶



カンパニーデラシネラ

小野寺修二

創作ワークショップ

「甘えの構造」りゅとぴあ ver. 開催予定!

2023/2/23(木・祝)~2/26(日) & 3/3(金)~3/5(日)

7日間かけて作品創作を行う、貴重なワークショップです。
詳細は追ってお知らせします。

カンパニーデラシネラ / 小野寺修二

略歴では収まりきらないご紹介

主宰するカンパニーデラシネラでの活動

デラシネラでは大人も子どもも楽しめる古典名作劇場と銘打ち、『ロミオとジュリエット』(11年)、『ドン・キホーテ』(17年) [20年りゅーとぴあでも上演]、『はだかの王様』(21年) [23年1月にりゅーとぴあ上演予定] を創作するほか、『ふしぎの国のアリス』(17年・22年新国立劇場他)、カンパニーの国際共同制作として『TOGE』(21年神奈川芸術劇場)に続き、2022年にも新作を予定している。

演出も、振付も、俳優としても

自身が主宰するカンパニーデラシネラでの作品創作のみならず、演出、振付、ステージング、俳優として様々な舞台に関わっています。



演出家として

デラシネラ以外の演出作品として、りゅーとぴあプロデュース『オフエリアと影の一座』(16年)、現代能楽集IX『竹取』(18年シアターラム他)ほか多数の舞台を手掛ける。

振付やステージング

さらに様々な音楽劇や演劇で振付やステージングを担当し、2022年だけでもシス・カンパニー公演『ミネオラ・ツインズ』(1月)、『ザ・ウェルキン』(7月)、パルコ・プロデュース 2022『セールスマンの死』(4月)、『桜文』(9月)、KERA・MAP #010『しびれ雲』(11月) [12月にりゅーとぴあ上演予定] と数多くの舞台に携わる。2010年度に第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞。

学校公演、野外劇、大河ドラマにも

小中学校巡回公演など次世代へのアプローチにも積極的に取り組む他、ダンストリエンナーレトーキョー 2012にて『ロミオとジュリエット』、瀬戸内国際芸術祭 2013にて屋外劇『人魚姫』を発表するなど劇場内にとどまらないパフォーマンスを行う。2022年10月には東京芸術祭 2022 野外劇『嵐が丘』を上演予定。2015年度文化庁文化交流使、2021年NHK大河ドラマ『青天を衝け』にて、北大路欣也扮する徳川家康周辺の振付を担当。俳優としても 2022年にも再演された東京芸術劇場『気づかいレシー』で岸井ゆきの、栗原類らと共演しています。